

やまびこ

第53号 令和4年11月
編集・発行 掛川地域力向上委員会
Tel・Fax 0561-48-6165
E-mail:kakegawatiikiryoku140510@gctv.ne.jp

🍁 秋晴れ！掛川スポーツフェスタ 🍁

前日の大雨から一転、晴天に恵まれて9月24日、掛川スポーツフェスタが開催されました。

コロナ対策で子どもたちのお弁当やおにぎりなどの炊き出しはありませんでしたが、地域の方々もたくさん参加され、楽しいひと時を過ごしました。



和太鼓演奏

日々の練習の成果を思い切り披露してくれました



みんなで盆踊り

青空の下、ビューティフルサンデーと瀬戸音頭に合わせて、リズムよく体を動かしました



大玉転がし

グラウンドの外周を子どもと保護者が協力して大きな玉をリレーしました



玉入れ

竹かごの玉入れを懐かしむ声がたくさん聞かれました

子育て支援グループ サツマイモの収穫体験！



掘り出す作業はひと苦労



5月に植え付けたさつまいもが収穫時期を迎えました。10月8日は20名、9日は31名の参加があり、賑やかに楽しく過ごすことができました。

さつまいもも大きくて、掘り出すのもひと苦労…。みんなで力を合わせて掘り出していました。

掛川の子は、用具の使い方に慣れて使いこなしている子もいました。大人の方には力仕事をしていただき、大変助かりました。焼き芋は焦げたのもありましたが、みんなで美味しくいただきました。



たくさんのさつまいもが収穫できました



焼き立ての焼き芋、みんなで食べるとおいしいね



採りたてのツルをきんぴらに

今年度の子育て支援グループの企画はこれで終了となりますが、今後も子どもたちとの交流に、多くの方がつながるといいですね。

来年度に向けてご意見・ご要望などありましたら、お気軽に連絡してください。

たくさんのご支援、ご協力ありがとうございました。



日本一小さなネズミ「カヤネズミの巣」学習田で発見！



(掛川小学校学習田にて)

掛川小学校の学習田でカヤネズミの巣がいくつか見つかりました。

カヤネズミは生えている草の葉っぱの上で巣をつくる世界でも珍しいネズミです。巣の大きさは8～10cm程度。体重は500円玉1個分(約7～8g)くらい、体の大きさは大人の親指ほどしかありません。日本では一番小さいネズミです。だから、柔らかい草にも上れるし、草のてっぺんに巣を作ることできます。

ススキやチガヤの生える原っぱや稲田がなくなると、カヤネズミは生活の場を失うことになります。愛知県では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。



さらに！

見かけないへびも見つけた！

ジムグリは体の色や模様がとてもきれいな小型のへびです。毒はもっていません。掛川地区ではあまり見かけない珍しいへびです。おなかの白黒模様はピアノの鍵盤に見えませんか？



学習田の稲刈りの時、子どもたちがこのジムグリを田んぼの中で見つけました。おなかに膨らんだ所が2か所ありました。

捕まえたジムグリを学校でしばらく飼っていたら2匹のカヤネズミを吐き出したそうです。あの膨らみはのみ込んだカヤネズミだったことが分かりました。

小さな学習田でも生き物たちのドラマが展開されています。掛川の自然がどれほど豊かかということがよく分かりますね。



ふくらんだお腹
(掛川小学校学習田にて)

有害獣について考える

イノシシの部

ここ数年来イノシシ・アライグマ・ハクビシンなどの有害獣による被害が増大しています。今回はイノシシについてその特性や駆除に関することをお知らせします。



日中、車道脇に現れたイノシシ

昔はイノシシといえ
ば民家から
離れた所の
田や畑の作
物を荒らす
ことで知ら
れていた動

物です。

イノシシは本来夜行性ですから出没するのはほとんどが夜に限られていました。最近の状況はどうでしょうか。大きな変化が見られます。

- ① 民家近くにも出没するようになった。
- ② 生息数が増えた。
- ③ 夜に限らず、明るいうちでも人里に現れるようになった。

山にドングリなどの餌が不足してきたから人里に現れるようになったと報道されることがよくありますが、本当にそうでしょうか？ それだけが原因と考えるには疑問が残ります。ドングリなどの木の実が豊富な年でも人里でイノシシを見かけることは多々あるからです。

たまたま人家近くの田や畑に現れたイノシシは簡単に手に入る野菜等の餌が豊富にあることを学習し、それが子孫に受け継がれている、というのも大きな理由の一つではないか、そして十分な餌を得ることにより繁殖率も上がり、頭数が増えてきたとも考えられます。

頻繁に人里に出没するようになったイノシシが人に慣れてきたというのも否定できません。

イノシシ、アライグマ、ハクビシン、ヌートリアは、現在瀬戸市では駆除有害獣の対象となっています。有害獣を捕獲するには本来、狩猟免許を持った人だけに限られていますが、くくり罠、箱罠については猟友会メンバーの指導のもとに一般の人でも協力という形で仕掛けることができます。箱罠については瀬戸市環境課で貸し出していますので、相談してみるとよいでしょう。



くくり罠にかかった大型のイノシシ



箱罠で捕獲されたイノシシ

～掛川小学校の現在を考える～

小規模特認校制度とは

○ 概要

瀬戸市立の小中学校に就学する児童生徒が、通学の安全の確保や特別な環境での教育を受けるため、居住地の通学区域とは異なる学校を選択し所属することを可能とする特定地域及び小規模特認校の設定について必要な事項を瀬戸市教育委員会で定めるもの
平成 32 年度新入学児童生徒から適用するため、現在の校区外区域外就学制度に包括した要綱を平成 31 年 4 月に施行する

○ 用語の定義

小規模特認校

通学区域内の児童の全員が在籍しても各学年とも単学級以下で市教育委員会が定める学校
なお、卒業後は居住する通学区域に応じた中学校に進学する

○ 小規模特認校の選択の申請が可能なもの

瀬戸市立小学校への新入学時または転入や転居等の住所移転の時に、瀬戸市内に居住する児童の保護者

- ・ 新入学児童は市教育委員会が指定する時期(毎年 8 月中旬)までに市教育委員会に申請書を提出する
※転入及び転居の場合、その都度市教育委員会に申請書を提出する
- ・ 通学区域に定められた学校に通学しない児童の保護者は通学の安全において自ら責任を負う

(校区外通学に係る特定地域並びに小規模特認校の設定に向けた方針から抜粋)

※瀬戸市においては新入学時または、転居時でしか入学が認められていません

掛川小学校のいま

今後の児童数の推移 (2022/10 月現在)

今年度(2022 年度)の 6 年生が卒業すると、児童数そして世帯数が一気に減ります。来年度(2023 年度)新入学予定は 1 名で、特認校制度を利用して学区外からの入学希望者は今のところありません。

PTA が中心となって、地域力の協力もおおぎながら瀬戸市内の保育園・幼稚園に特認校周知やイベント開催のチラシを配る活動を始めました。

学年	現在の児童数	来年度の予定児童数
6	8	3
5	3	0
4	0	7
3	7	3
2	3	0
1	0	1
児童数合計	21	14
世帯数 (うち学区外)	18 (8)	12 (8)

掛川小学校の今後から見えるいろいろな課題は、今後の地域の在り方や方向性にもつながってくる課題といえます。お子さんのいる家庭のみならず、掛川地区に住む人ひとりひとりが掛川の今後について思いをめぐらし、アイデアや意見を出しあいつつ協力していく時期が来ていると思います。

「掛川小学校で遊ぼう」 掛川小学校 PTA 主催 学校紹介イベント

小規模特認校ならではの特色を紹介するイベントが開催されます。
地域の方の見学・ご参加大歓迎です！ぜひ小学校にお越しください。

日時：11月27日(日) 10時～11時30分

場所：掛川小学校体育館・グラウンド

※雨天時は体育館で開催します

掛川小学校の周りに住んでいる生き物に関するクイズに答えてスタンプラリーを行います。ウッドランド、ピオトープなど魅力的な場所を紹介します。



環境美化グループからお知らせ

○掛川地域内の花壇の夏花の撤去作業

定光寺町 11月30日(水) 午前9時から

下半田川町 11月26日(土) 午前8時から

○掛川地域内の花壇の花苗の植え付け作業

定光寺町 12月7日(水) 午前9時から

下半田川町 12月10日(土) 午前8時から

お手伝いいただける方はご協力よろしくお願いたします。



生涯学習講座のご案内 「愛岐トンネル群」を歩く

日時：12月3日(土) 9時～正午

場所：旧国鉄中央線の愛岐トンネル群3～6号間(1.7キロ)

集合：定光寺公園(駐在所前)へ8時45分に集合(9時出発)

持ち物：飲み物、タオル、マスク、ウォーキングストック、懐中電灯

(※ヘッドライトがあると便利)

申込期限：11月18日(金)

年賀はがき 申し込み受付中

毎年恒例の「山渡る風」挿絵入り年賀はがきの注文ができます
詳しくは10月20日付号外をご覧ください